

令和6年度 羽島郡二町教育委員会 方針と重点 職員自校評価

No.	項目	A(%)	B(%)	C(%)	D(%)	A+B(%)
1	「命を守る訓練」等を実施する目的や意義を児童生徒が自分ごととして捉え、「災害」や「交通事故」「水難事故」の危険を予知・回避する力を高める指導を行っている。	72	28	0	0	90.7
2	児童生徒が楽しみながら体力づくりをするために、様々なスポーツや遊びを体験できる場を提供したり、活動を工夫したりしている。	44	56	0	0	81.3
3	児童生徒に望ましい生活習慣の定着ができるよう家庭に向けて指導をしている。	28	72	0	0	76.0
4	児童生徒が自己の生き方について考えが深まるよう、道徳の授業や日常の生活指導において指導方法の改善に努めている。	40	60	0	0	80.0
5	今日的な課題を踏まえ、確かな人権感覚を身に付けるための活動や指導方法を工夫している。	48	48	4	0	81.3
6	「柱となる活動」の取組を通して、児童生徒が自分たちの活動に自信をもてるよう支援している。	44	52	4	0	80.0
7	いじめに関する情報を迅速にとらえ、事案については校内のいじめ防止対策委員会を中心とした組織で対応をしている。	84	16	0	0	94.7
8	地域の様々な方とのつながりを大切に、意図的・計画的に地域の方から学ぶ機会を設けている。	32	68	0	0	77.3
9	学習指導や生活指導の場面で生き方とのつながりや意味指導を行い、意欲の喚起や希望・憧れがもてる指導に努めている。	32	68	0	0	77.3
10	児童生徒が主体的・対話的に学ぶため、学習方法や学習形態の工夫や価値付け、見届けに努めている。	68	32	0	0	89.3
11	基礎・基本の定着のための課題や探究的な学びの課題を適宜、提示することで、家庭学習の充実に努めている。	40	52	8	0	77.3
12	特別な支援を要する児童生徒に対して、一人一人のニーズに応じた具体的な支援や指導を行っている。	60	40	0	0	86.7
13	地域の行事や公民館の講座について、紹介したり、参加を促したりしている。	28	72	0	0	76.0
14	ICT機器やデジタル教材等を積極的に活用するとともに、活用場面や活用方法の指導を工夫している。	52	48	0	0	84.0
15	児童生徒一人一人の状況把握や早期の教育相談により、不登校の未然防止策や早期支援策に組織的に取り組んでいる。	68	32	0	0	89.3
16	自分が担当する施設・設備・備品の危険箇所・修繕箇所の状況を定期的に点検・確認し、管理職を通して適切に対応するよう働きかけている。	80	20	0	0	93.3
17	地域の実態や実情に合わせて学校防災マニュアルを見直し、職員間で共通理解を図り、命を守る訓練や安全指導に取り組んでいる。	52	44	4	0	82.7
18	地域の行事に参加することやボランティアで人のためになることをするよう働きかけている。	40	56	4	0	78.7
19	校務系・学習系システム、クラウドツール等を、積極的に活用することで、授業を分かりやすくしたり、業務のスリム化に努めたりしている。	44	52	4	0	80.0
20	教員間で幼保小、小中、中高で情報共有をし、幼児児童生徒が交流するような場を設定している。	20	56	24	0	65.3